



幼保連携型認定こども園 みたけこども園 令和6年12月25日(水)発行

令和6年も残りあと数日となりました。

先日のクリスマス会は、サンタさんの登場に大喜びでした。サンタ役のお父さんがジェスチャーと片言の日本語で話しかけてくれたので、外国から来たサンタさん？と思っている子もいました。温かい雰囲気が伝わったのか、誰も泣かずニコニコ顔で記念撮影出来ました。サンタさんありがとうございました。

今年もご家庭の早めの対応とご理解で大きな感染症もなく過ごせました。ありがとうございました。令和7年も明るい1年になりますよう職員一同力を合わせて教育・保育に当たっていきたいと思います。新年もどうぞよろしくお願い致します。

園長 西村 優子

## ※1月 行事予定表※

- 1日(水)~3日(金) 休園
- 4日(土) 合同保育
- 10日(金) そり滑り
- 14日(火) おはなしタイム・交通安全指導
- 16日(木) 園開放⑩
- 17日(金) 栄養士のお話  
※たんぽぽ組・ひまわり組・ぼら組さんが、食べ物や栄養についてのお話を聞く予定です。
- 20日(月) 誕生会
- 21日(火) 職員会議・安全点検
- 22日(水) 書道教室(ぼら組)
- 24日(金) 保育参観(ぼら組)
- 27日(月) 避難訓練
- 28日(火) 園内研修
- 29日(水) 園内研修②
- 31日(金) 布団返却日

2/7(金) 保育参観(ひまわり・たんぽぽ組)  
※ぼら組・ひまわり組・たんぽぽ組の保育参観については、詳しく別紙でお知らせします。



職員が参加する研修  
7日 地区保育士会給食担当者研修  
30日 就学前理解推進研究協議会Ⅱ

※今年度の卒園式は3月15日(土)です。



- 0歳児…保育者と一緒に体を動かしたり、雪に触れたいして元気に過ごそう!
- 1~2歳児…保育者や友達と一緒に冬ならではの遊びを楽しもう!
- 3~5歳児…寒さに負けず友達と雪遊びをしてのびのびと楽しもう!



## ~お知らせとお願い~

- 12/27(金)布団返却日に、靴棚のトレーと雑巾の持ち帰りをお願いします。汚れを綺麗にして、新年をお迎えしましょう。1/6(月)にトレー・雑巾を持ってきて靴棚にセッティングをお願いします。
- 年末の合同保育を利用するお子さんは、当日分の着替え(おむつを含めて)を持って登園してください。
- 送迎の際は、出入口の間違いに十分注意していただけるようお願いいたします。奥側が入口・手前側が出口になっています。雪で見えにくくなる季節になりましたので、ご確認とご協力をお願い致します。また、積雪で駐車場が狭くなり、暗い時間帯は見えにくく危険です。登降園の際は、駐車場で遊ばないようお願い致します。

## ~保育の記録より~

### 今月のテーマは「友達と触れ合いややり取りを楽しむ姿」

- 保育者が周りの子の名前を呼ぶと、その子に視線を送ったり、指差しをしたりして保育者と一緒に近くにいる子との簡単なやり取りも少しずつ増えてきた。《さくらんぼ組》
- 「入れて」「いいよ」など簡単なやり取りをしながら買い物ごっこやボール、サーキット遊びをしている。周りの子の遊びに興味を持ち、玩具の取り合いになってしまうこともある。《いちご組》
- 友達がブロックで作っているものを見て同じものを欲しがり、作れる子がさり気なく手伝ったり、一緒に遊んだりする場面もみられる。《ちゅうりっぷ組》
- 「○○ちゃん、お休み?」「○○ちゃんと遊びたい」など、友達の関わりが深まってきて一緒にごっこ遊びや追いかけっこ好きな遊びを楽しんでいる。《たんぽぽ組》
- 異年齢児で関わりながら、好きな遊びやお店屋さんに向けた品物作り、お店屋さんごっこを楽しんでいる。身近な素材や道具を使って作ること、言葉で会話のやり取りをする、ごっこ遊びを楽しんでいる。《ひまわり組》
- 友達とアイデアを出し合い、折り紙・色画用紙・テープなどの身近な素材を使って、一緒にクリスマスの飾りを作り保育室に飾ったり、遊びに必要な物を作ってごっこ遊びを楽しんだりしている。《ぼら組》

### <保育者の援助>

- ☆周りの子への興味が出始めた姿を受け止め、お返事遊びや真似っこ遊びなどの簡単なやり取りで保育者と周りの子と簡単なやり取りを繰り返し、関わる心地よさを味わえるようにしている。
- ☆玩具を取り合った時は、玩具の数や種類を増やし、「かして」「いいよ」とやり取りの仕方を知らせ、周りに子と一緒に同じ遊びを楽しめるようにしている。
- ☆異年齢児と遊ぶ機会を設け、年上の子は、遊び方やルールなど保育教諭と一緒に遊びながら知らせるようにしている。
- ☆安心できる友達のペアを崩さずに、年長児や年少児と関われるようグループ作りに配慮していくようにしている。
- ☆友達と考えを出し合い工夫しながら作る様子を見守り、意見の違いが見られた時は、子ども達が解決していけるように保育教諭がヒントを伝えながら仲立ちしていくようにしている。